

子どもから大人までやりたいが 実現する地域づくり

20230604市民のための地域づくり勉強会

NPO法人おむすび（申請中）

副理事長 大畑伸幸



小学校教員8年
中学校教員10年
社会教育行政20年

六日市町教育委員会3年
匹見町教育委員会3年
益田市教育委員会5年
益田市教育委員会9年

市民活動22年目
ネイチャーキッズ寺子屋

NPO法人おむすび 1年目



萩石見空港⇔10分⇔市役所 ⇔90分⇔羽田空港



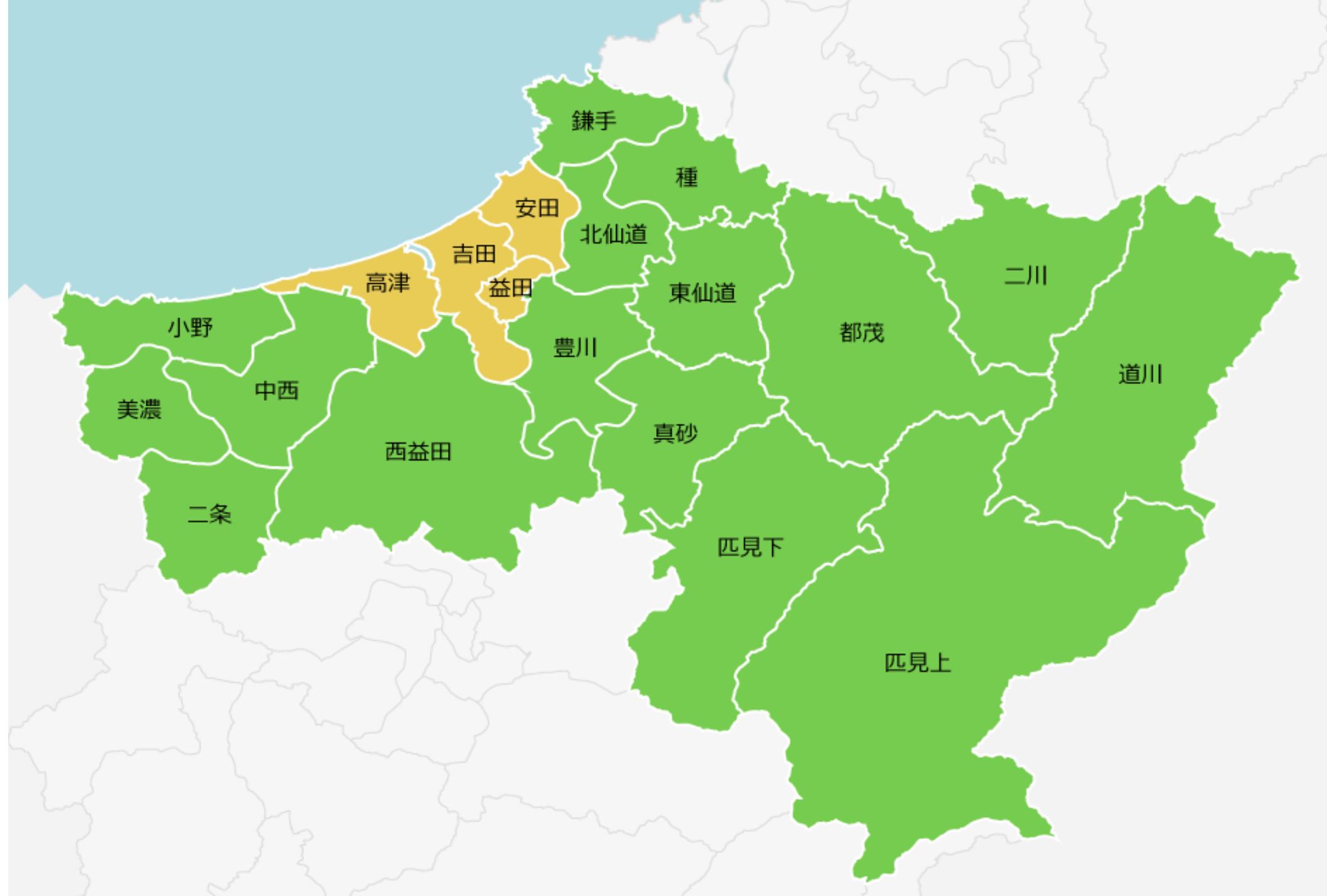
島根県益田市
MASUDA CITY





東京都23区以上の面積733km²のまち

島根県内 最大面積の中に、
20地区の集落 & 4万6000人



鎌手

種

安田

北仙道

吉田

益田

東仙道

二川

高津

小野

都茂

豊川

道川

美濃

中西

真砂

西益田

二条

匹見下

匹見上

「過疎」発祥の地

面積の70%が中山間地域

3つの市街地と17の中山間地域

子どもが産みやすく、ゆとりある生活ができるまち

豊富な余暇時間 と 全国有数の出生率

全国 **2位** の余暇時間

島根県の平均帰宅時間 **18時16分** (都道府県全国**2位**)

全国 **2位** の合計特出生率

島根県 **1.69** (都道府県全国**2位**)

益田市 **1.81** (全国**129位**、県下市町村**2位**、県下市**1位**)

圧倒的な人口流出 と Uターンしない若者

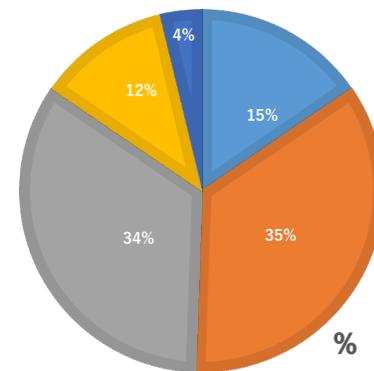
高校卒業時に、**9割**の高校生が市外転出の実情
大学卒業後に、Uターンする若者**3割**の実情
(出典 平成27年 益田市総合戦略)

益田市には「**なにもない**」と感覚的に答える子どもたち

【益田市には、「**なにもない**」】

51%
そう思う。

275人
544人中



- とてもそう思う
- ややそう思う
- あまりそう思わない
- 全くそう思わない
- 無回答

→ 都会のリソースフルな環境への憧れを醸成

つくる

地方都市に必要な

インキュベーション

アントレプレナーシップ

< 原因
その1

職業観に偏重した
ワークキャリア教育

→自然と都会志向となる

全国1位の豊富な余暇時間に裏付けされた、多様な足場・顔を持てる環境
ワークキャリアから、ライフキャリアの概念へ



(1) 仕事の顔



(2) 地域での顔



(3) 趣味での顔



(4) 家庭での顔

平成17年度から取り組んできた島根県のふるさと教育

原因
その2

ひと・もの・ことを知ることに特化した
ふるさと教育

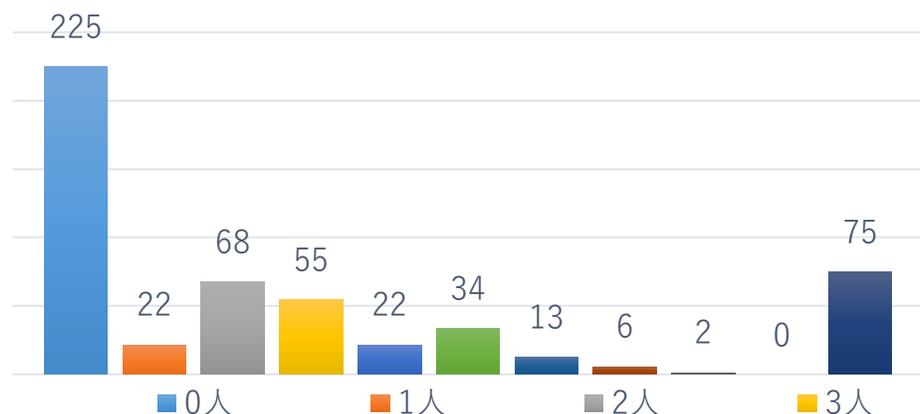
地域の大人と子どもが繋がれていない現実

【気軽に話をする事ができる、
地域の大人の人数】

【益田市には魅力的な大人が多い】

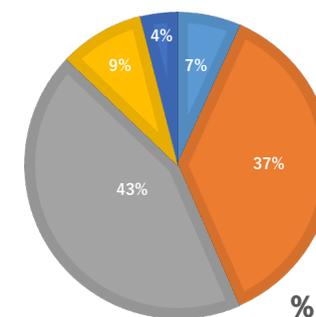
225人
535人中

42%が、0人と回答



282人
536人中

53%
そう思わない。



→ ロールモデルとの出会いがないまま大人へ

ライフキャリア教育の背景・課題意識



進路
就職先
企業

ワークキャリア

+

人生観

どんな人になりたいか
何を大切にしたいか
生きがいは何か

(例) 人見知りを克服して、
積極的にいろいろな人と話せるようになりたい。



ワークキャリアを包含したライフキャリア教育へ

ライフキャリア教育で大事にしていること

日々を前向きに生きている益田びととの

対話

を通して、多様な価値観・生き方に触れる

ライフキャリア教育の目的

「どこに進学・就職するか」だけではなく、

(1) どんな環境でも、
“**生き抜く力**”を身につける。

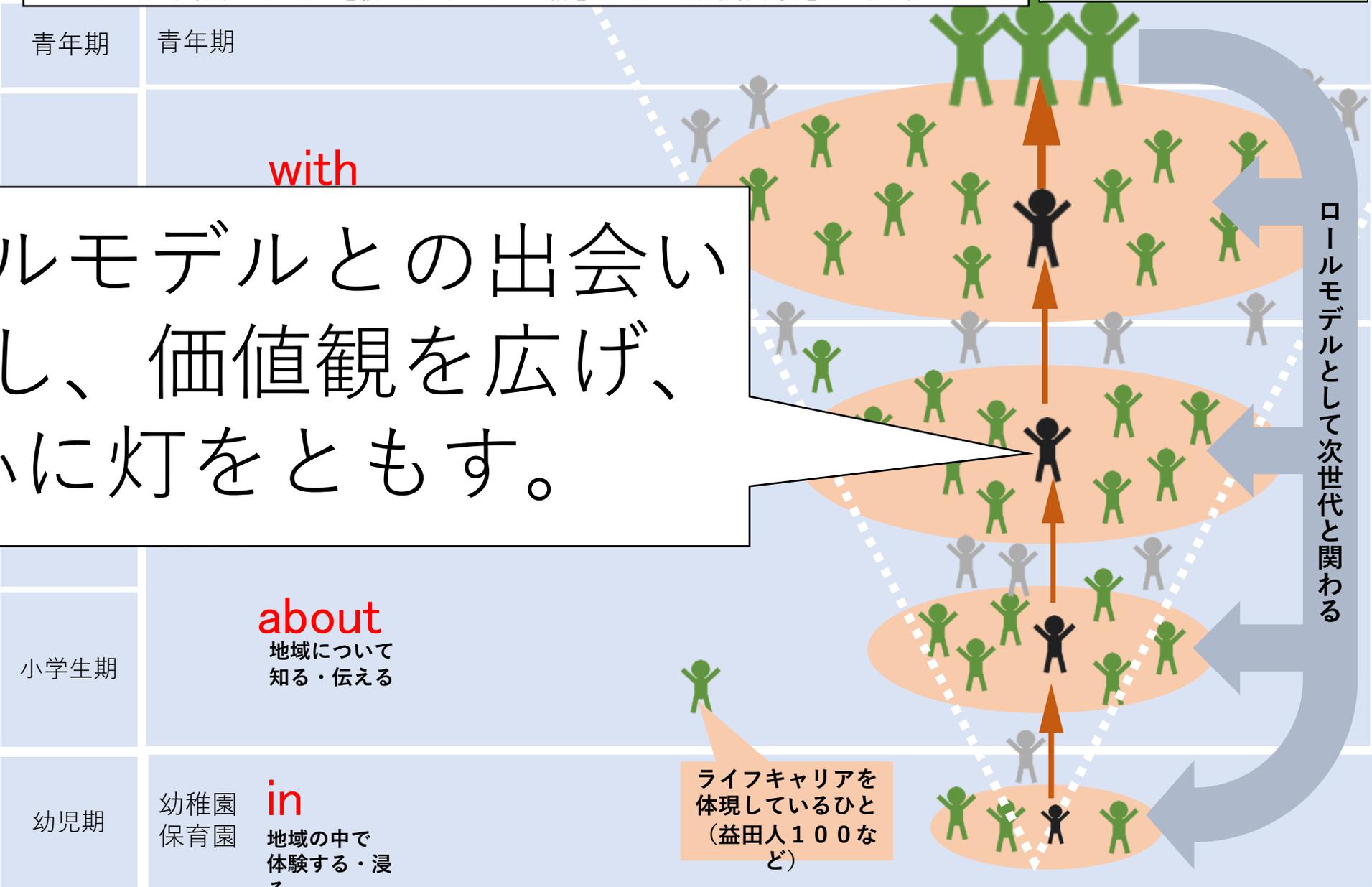
世界のどこでも
活躍できる力

(2) 将来、益田を選ぶ**種まき**をする。

× 無理やり益田を好きにさせる。

○保幼・小・中・高など、すべての年代を通じて、活動の軸に「ライフキャリアを体現しているひと（益田人100）」との出会いを位置づけるプログラム。
○子どもたちが、各年代で出会いを積み重ね、出会いの輪を広げながら、目指す姿を達成する。

【目指す姿】
○日々の目標に対し、能動的に生き、自らの可能性を広げることのできるひと



ロールモデルとの出会いを通し、価値観を広げ、心に灯をともす。

with

about

地域について知る・伝える

in

地域の中で体験する・浸る

ライフキャリアを体現しているひと（益田人100など）

ロールモデルとして次世代と関わる

○保幼・小・中・高など、すべての年代を通じて、活動の軸に「ライフキャリアを体現しているひと（益田人100）」との出会いを位置づけるプログラム。
○子どもたちが、各年代で出会いを積み重ね、出会いの輪を広げながら、目指す姿を達成する。

【目指す姿】

○日々の目標に対し、能動的に生き、自らの可能性を広げることのできるひと

青年期 壮年期

(横) 産学官民の連携協働により、
広がる
学びのステージ

中学生期

地域のために

(縦) 保幼・小・中・高、切れ目のない連続性のあるプログラムの実施

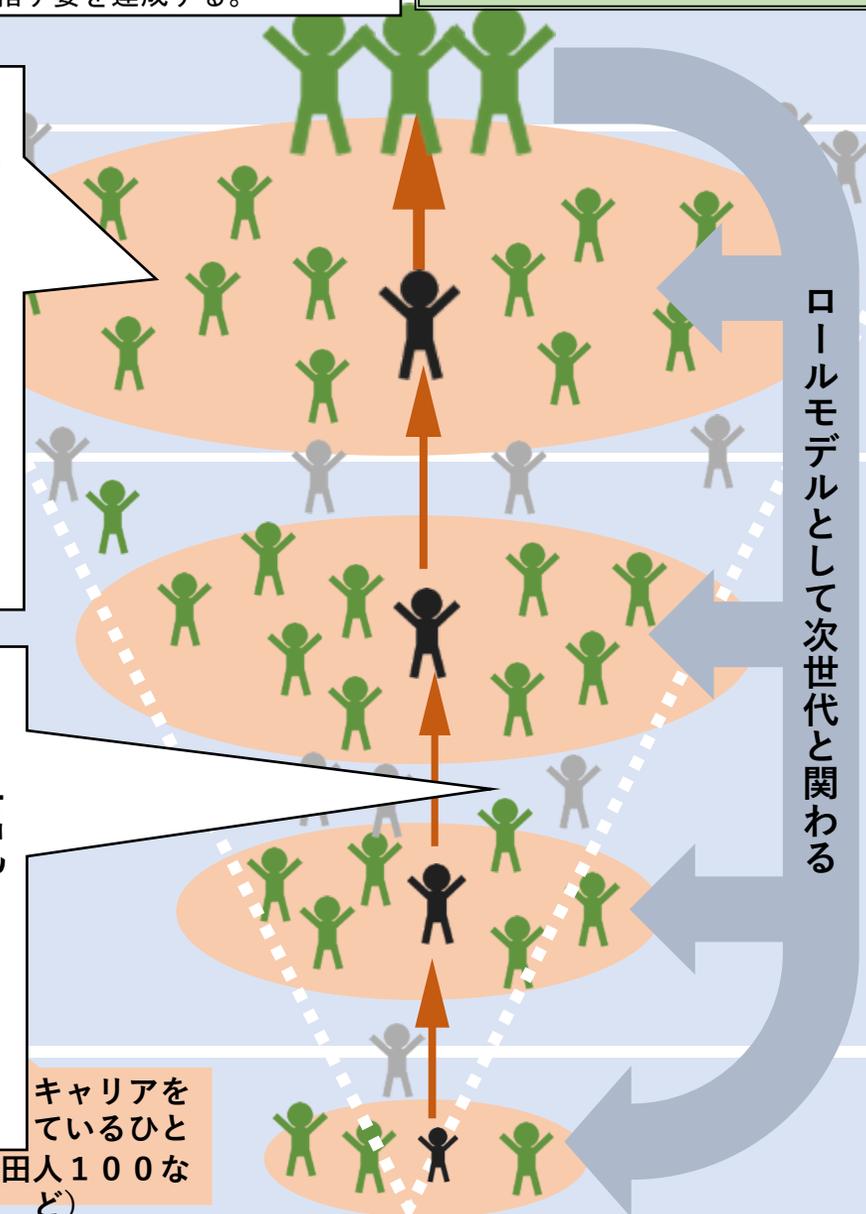
幼児期

保育園

地域の中で
体験する・浸る

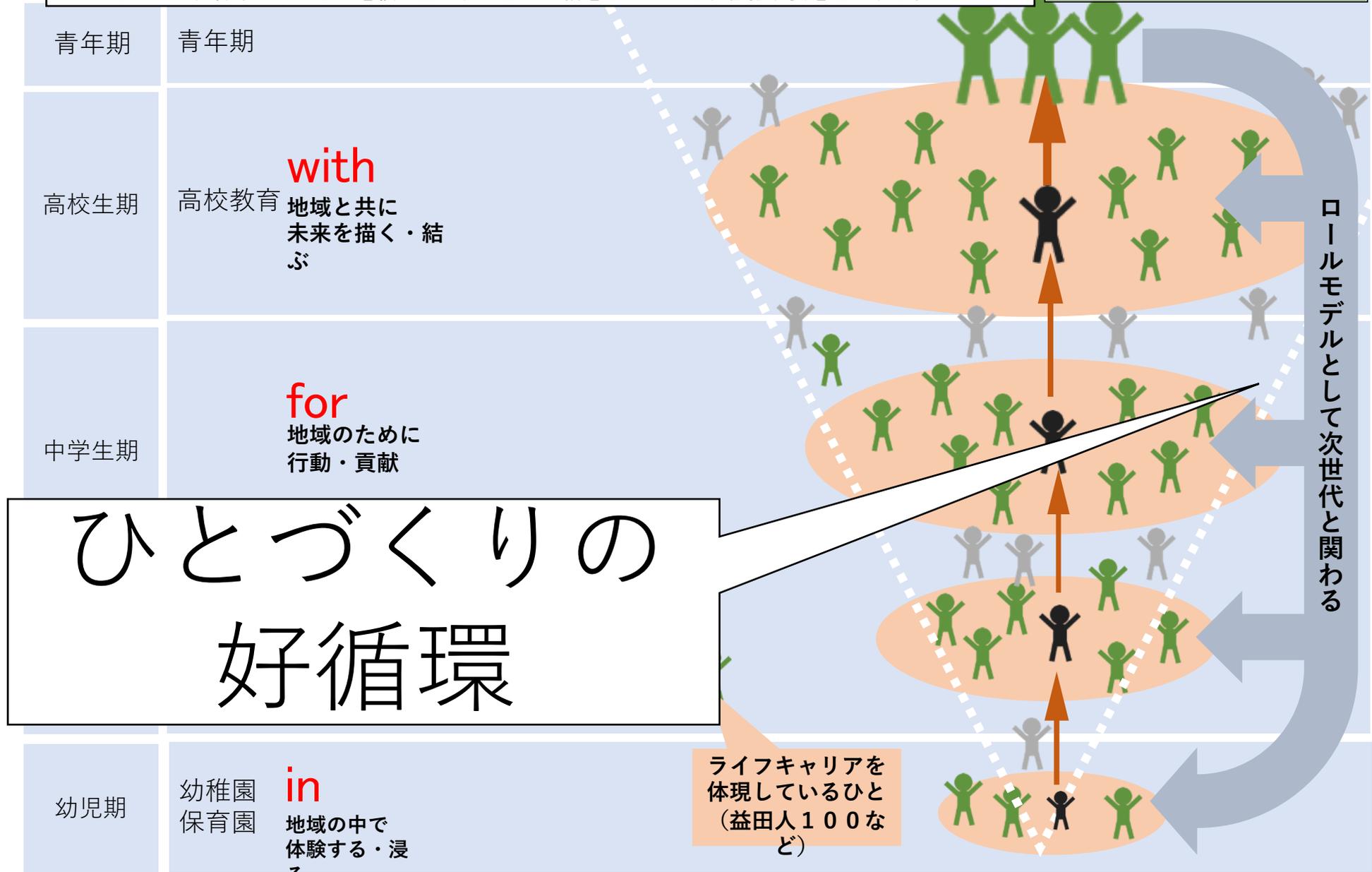
キャリアを
ているひと
(益田人100など)

ロールモデルとして次世代と関わる



○保幼・小・中・高など、すべての年代を通じて、活動の軸に「ライフキャリアを体現しているひと（益田人100）」との出会いを位置づけるプログラム。
○子どもたちが、各年代で出会いを積み重ね、出会いの輪を広げながら、目指す姿を達成する。

【目指す姿】
○日々の目標に対し、能動的に生き、自らの可能性を広げることのできるひと





益 田 版 カ タ リ 場

地域の大人とのつながりの一歩目
講演ではなく、1対1の対話

「カタリ場」とは？

高校生と首都圏の大学生が授業の中で語り合うキャリア学習プログラム。親や先生のようなタテの関係でもなく、友達のような横の関係でもない、ちょっと年上で利害関係のない「ナナメの関係」との対話がコンセプト。認定NPO法人カタリバが開発して、2001年度より首都圏を中心に展開されている。

[キーワード] #大学生 #一回きりの「ばいばい」の関係だから話せること

「益田版カタリ場」とは？

地域の大人と子どもが1対1で対等に語り合い、これから「どんな大人になりたいか」生き方を考える授業です。人との繋がりが希薄な時代だからこそ、2時間の授業の中で本音で話し合うことによって、子どもと地域の大人が繋がり、その後も気軽に話し合える関係になります。

[キーワード] #地域の大人 #「またね」の関係づくり





小学校で高校生と語り、



中学校で地域の大人と語り、

益田版
カタリ場



高校で働く大人と語り、



高校卒業前に、小学生に語る。

益田版カタリ場の種類

小学校カタリ場

小学生 × 高校生



「思春期」を終えた高校生から、これから「思春期」の小学生へ

- 卒業前の高校3年生とこれから中学生の小学5-6年生によるカタリ場
- 小学生が、中学・高校生活の未来のイメージを描くことができる
- カタリ場を受けてきた高校生は、学業生活を終える最後に、自分が語り手として、小学生に語る

中学校カタリ場

中学生 × 地域の大人



「挨拶」の関係から、「相談」の関係へ

- 中学校区の地域の大人と中学生によるカタリ場
- 公民館と連携をして、地域の担い手がカタリ場に参加
- 地域で会う機会があるからこそ、しっかり関係をつくり、その後の地域での活動づくりのきっかけへ

高校カタリ場

高校生 × 企業の大人



ちょっと年上の先輩と、ちょっと先の未来を描く

- 社会人の若手や大学生と高校生によるカタリ場
- 市内企業と連携をして、若手職員がカタリ場に参加
- 住んでいる地区を超えて、多様な大人との繋がりづくり、活動づくりのきっかけへ

高校生カタリ場からの広がり

人

校
中

生

高校生カタリバ



カタリ場からの活動の広がり



高校生の活動
例 ミライツクル
プログラム
「高校生カケル」

地域の大人の活動
○ミライツクルプ
ログラムへの参加



地域の大人の活動
○ライブラリマル
シェへの参加

地域の大人の活動
○新・職場体験へ
の参加



地域の大人の活動
○オモイをカタチ
にワークショップ



地域の大人の活動
○公民館活動への
参加



カタリバ参加キャスト → **地域で子どもと共に活動する伴走者へ**

心に火を灯す「益田版カタリ場」の効果 2020年度

効果1

自分と向き合える

将来に対して不安がある

カタリ場を通して、「どんな人になりたいか」考えることができた。

カタリ場 事前
79%
(428人/542人)

カタリ場 事後
90%
(491人/543人)

効果2

日常生活での「意欲」が上がる

今の自分の点数

カタリ場 事前
51点
(542人の平均点)

→

カタリ場 事後
63点
(543人の平均点)

カタリ場を通して、日常生活に前向きになった。

カタリ場 事後
87%
(473人/543人)

効果3

「悩み」を相談できる

カタリ場を通して、悩みが解消された。
(スッキリした)

カタリ場 事後
78%
(426人/543人)

「誰にも相談できなかった、悩みを打ち明けることができた」

効果4

地域との繋がりを紡ぎ直す

親と先生以外で、気軽に話せる大人が少ない。

益田には魅力的な大人が多い

より多くの地域の大人と話してみたい

カタリ場 事前
41%
(222人/542人)

カタリ場 事前
65%
(351人/542人)

カタリ場 事後
85%
(463人/542人)

カタリ場 事後
77%
(420人/543人)

効果5

将来ふるさとを選ぶ、種蒔き

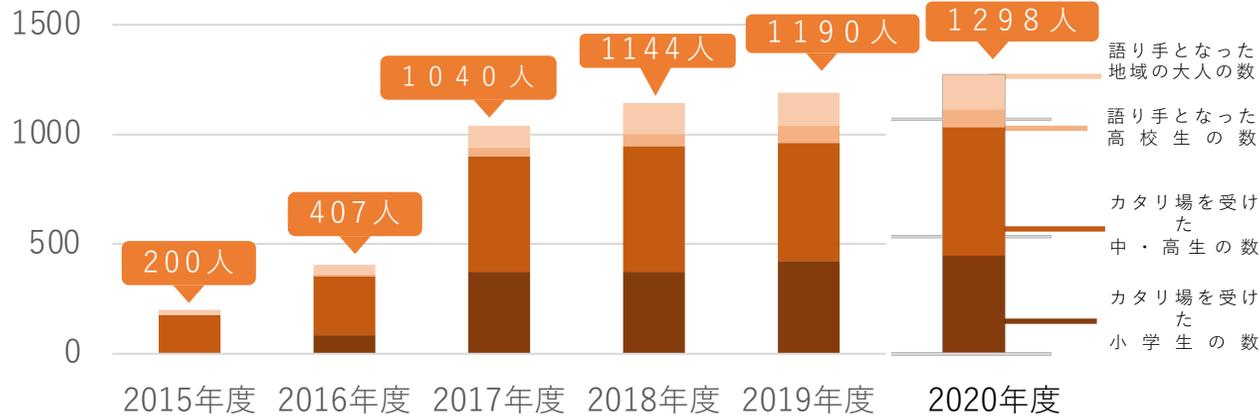
一度は外に出たとしても、益田市で暮らしたい

カタリ場 事前
57%
(309人/542人)

カタリ場 事後
65%
(354人/543人)

益田版カタリ場の実績

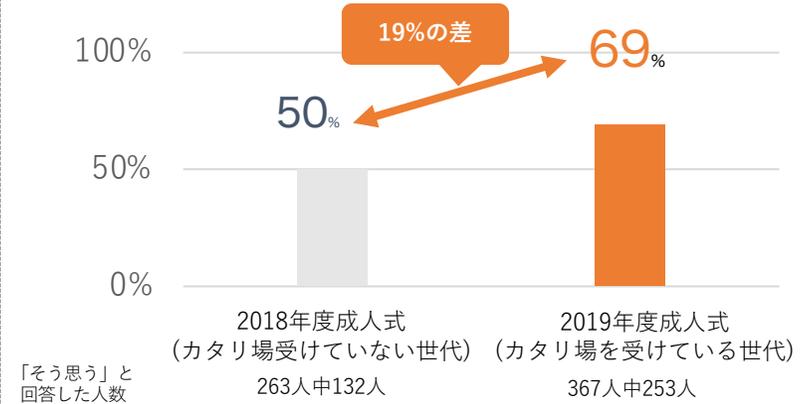
参加者数の推移 (参加者全員の実数)



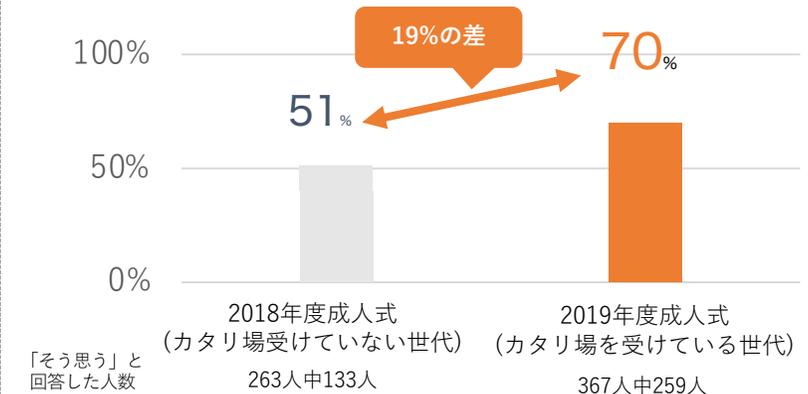
	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
小学生の受講者数	0人	85人	375人	374人	422人	416人
中高生の受講者数	176人	270人	526人	574人	540人	604人
大人の参加者数 (実数)	24人	45人	98人	143人	149人	222人
大人の参加者数 (延べ数)	24人	50人	136人	193人	254人	293人
高校生の参加者数 (実数)	0人	7人	41人	53人	79人	56人
高校生の参加者数 (延べ数)	0人	7人	92人	174人	219人	169人
対話した人数 (実数)	200人	407人	1040人	1144人	1190人	1298人

経年変化後の効果 (成人式でのアンケート調査の比較)

(1) 「将来、益田に住みたい」と答えた割合
(4段階のうち「とても思う」「ややそう思う」と回答した割合)



(2) 「益田市には魅力的な大人が多い」と答えた割合
(4段階のうち「とても思う」「ややそう思う」と回答した割合)



あらためて
「学校」と「地域」
を観ると

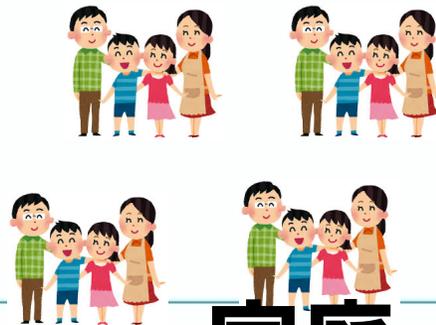
何のために 子どもを成長させるのか

より良い
『市民』としての
資質能力を
身に付ける

『個』の
可能性を
最大限伸ばす



地域



家庭

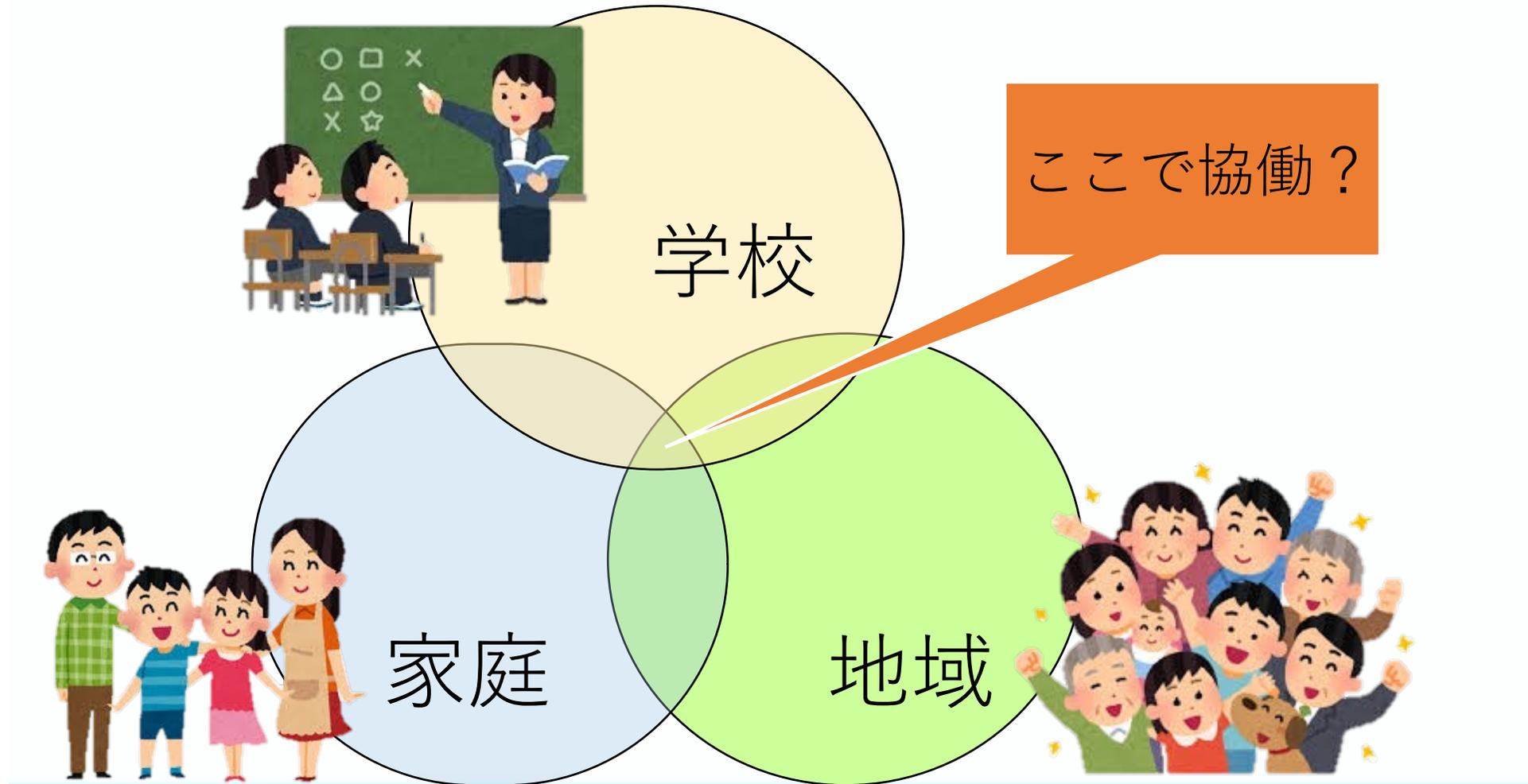


学校

MASUDA CITY



子どもの育ちを支える地域の力



MASUDA CITY



「子どもたちの成長のため」

地域

より良い『市民』としての
資質能力を身に付ける

持続可能な

地域づくり

と

ひとづくり

学校



個人の可能性を
最大限伸ばす

各教科だけでなく…

〇〇遊び・体験

学級活動

児童会・生徒会

学校行事

部活動

等

MASUD



社会に開かれた教育課程



子どもたちの

地域での活動が豊かに！

活動の広がり



地域での活動



9 中学校区

20 地区

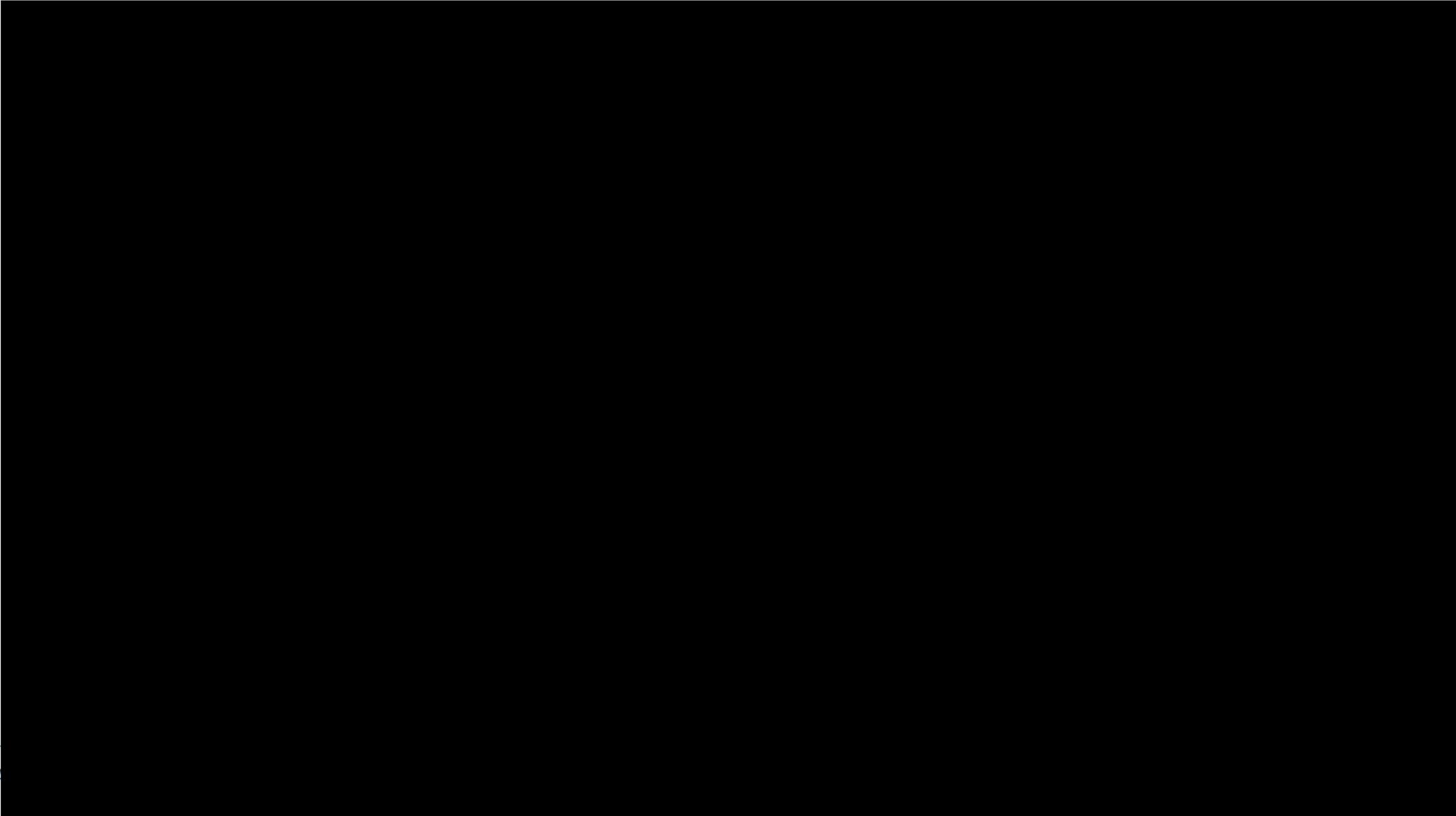
学校外での活動の広がり

地域での活動が豊かに！

子どもが変わる！

地域





MASUDA



又ひとが育つまち登田
フォーラム 2023

地域の大人はどんな存在？



島根県政番組

「NONSTYLE井上の体感！しまねのひとづくり」

NONSTYLE
井上の

体感！しまねの人づくり

Shimanes challenge

2023年3月19日(日)

午後2時～2時54分放送

島根県政番組から分かる

益田のひとづくりの好循環



青年期

青

【目指す姿】

子どもも大人も「まちづくりの主体者」になろう！

コミュニケーション能力 自己肯定感

「ふるさとへの愛着」 万物の学びの価値

世代をこえて愛着を呼び覚ます
人と人のつながりの見える
笑顔なまにします！



ロールモデル

with

コミュニティスクール

中学生期

往

小

還

幼児期

幼稚園
保育園

in
地域の中で
体験する・浸る

学校教育

社会教育

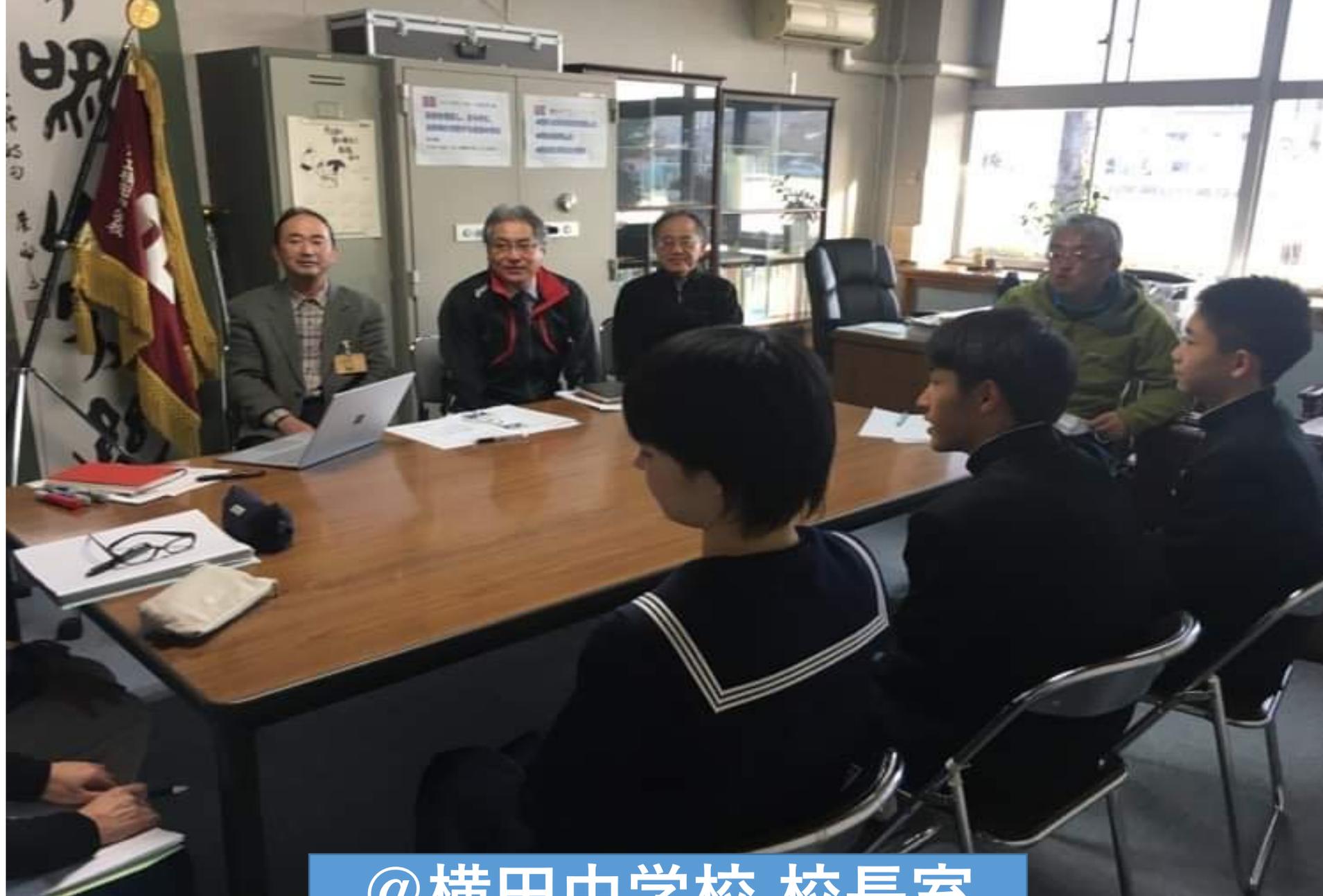


新職場体験



カタリ場





@横田中学校 校長室



@次世代育成検討委員会



@次世代育成検討委員会



@次世代育成検討委員会



@次世代育成検討委員会



@益田養護学校



@須藤竹材店



@須藤竹材店 工場



西益田
灯火祭
ともしびまつり
～ 一級中学生の有志と西益田まちづくりの会によるつながり体験プログラム～

地域のみなさんに協力して作っていただいたお祭りである今年も、ぜひご参加ください。お祭り当日は、お祭り会場に集合して、お祭りを楽しみます。お祭り当日は、お祭り会場に集合して、お祭りを楽しみます。お祭り当日は、お祭り会場に集合して、お祭りを楽しみます。

日時 令和2年11月7日(土) 17:00～20:00
会場 西益田中学校 校庭
(雨天の場合は体育館で行う可能性があります。)
その他 駐車場は田子ニスコートをご利用ください。
マスクを付けて来てください。
体調の悪れない方はご来場をお控えください。

協賛団体 西益田中学校 西益田中学校 西益田中学校 西益田中学校 西益田中学校
協力団体 西益田中学校 西益田中学校 西益田中学校 西益田中学校 西益田中学校
お問い合わせ 西益田公民館 (025-1221) ・西益田公民館 (025-1564)

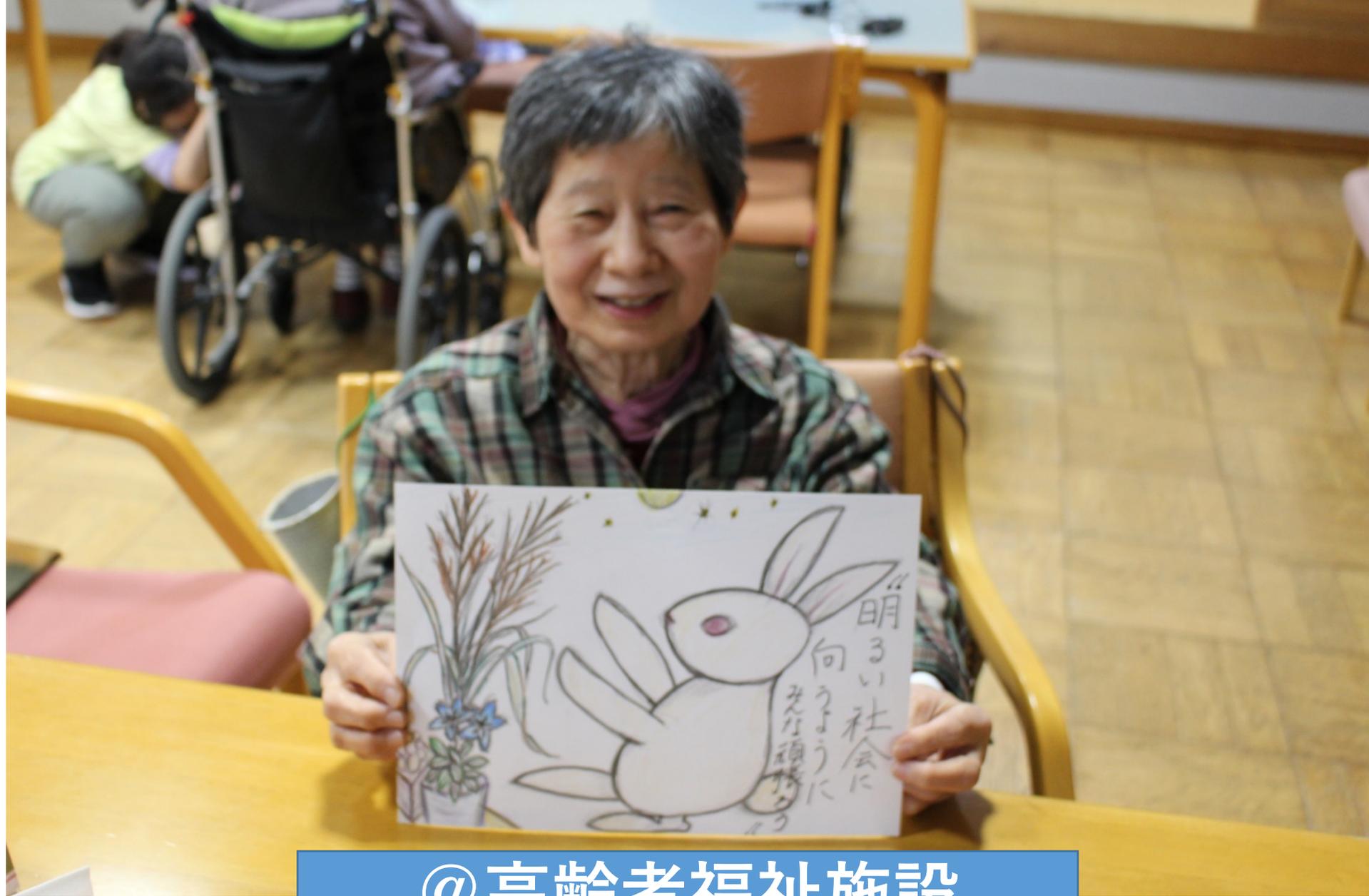
@放課後児童クラブ



@放課後児童クラブ



@地域の4保育園



@ 高齢者福祉施設

大人の心に火をつける中学生！

- ①僕たち中学生が地域の中で、活動することで、
地域は元気になると思うんです！
- ②同時に僕たち中学生も人として、
成長できると思うんです！
- ③成長した僕たちが横中に帰ることで、
横中は今よりもパワーアップすると思うんです！

中学生だけじゃない！ 地域で生まれた変化！

【みずいろ公園プロジェクト】

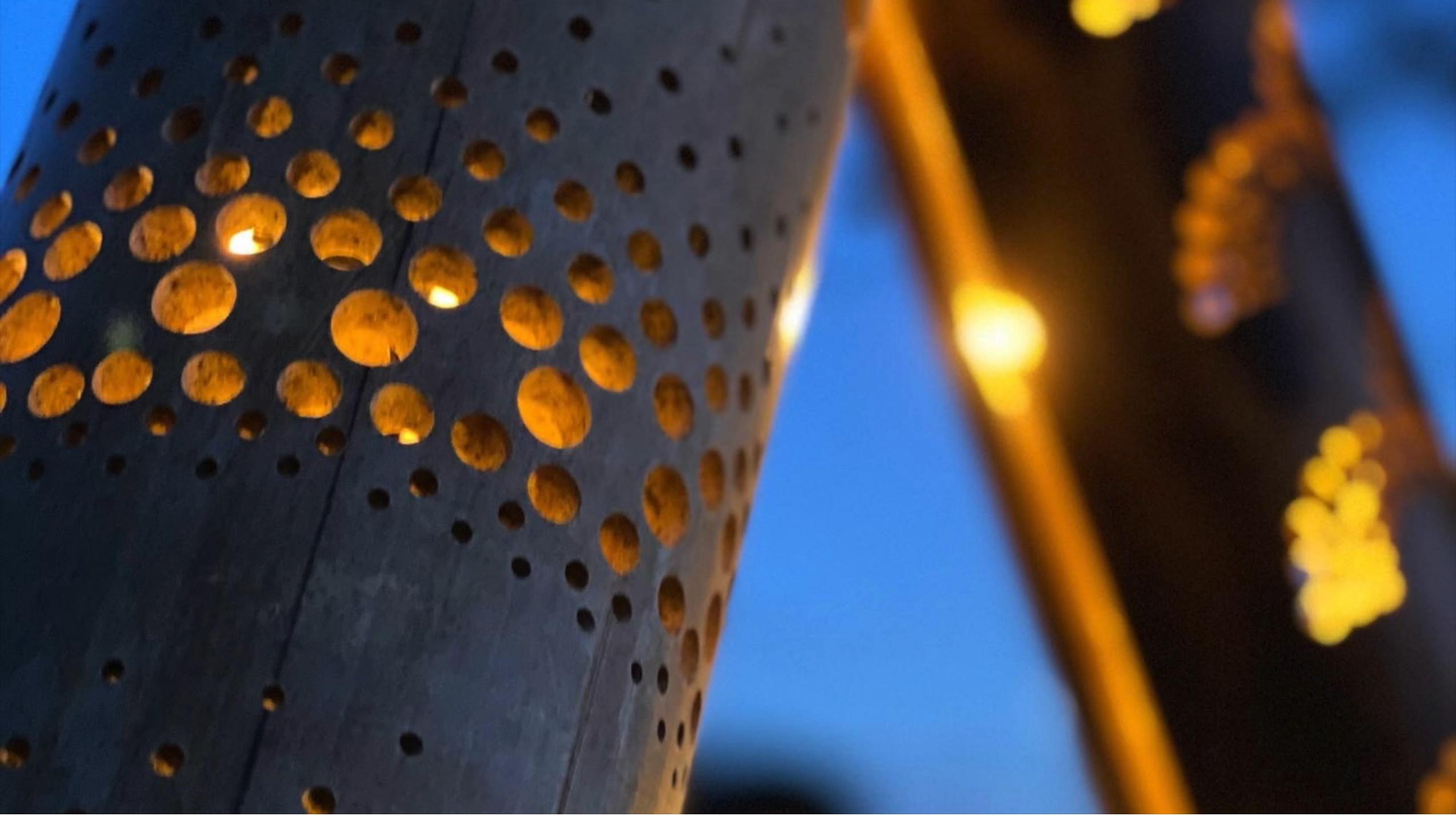
- 自治会単位のプロジェクト
- 子どもたちと進める理由
- 新しいつながり



西益田の未来のために！ 私たちが学んだこと！

- ①子どもたちの学びに参画することが
大人の意欲を高める。
- ②目的の共有によって、多様なひとが繋がり、
活動を発展・持続させる。
- ③まずやってみることで、活動の広がりが生まれ、
さらに新たな活動が生まれる。





ひとづくり施策

基礎自治体の目的

持続可能な地域づくりのために、
持続可能なひとづくりを！

未来の地域の担い手（市民）の育成

子ども（未来の担い手）はどこで育つの
⇒学校だけではない
⇒地域全体がフィールド
⇒今こそ「地域の教育力」の出番

なぜ、子どもたちを中心に据えるのか？

ひとがつながり

⇒活動をつくためには

⇒場所（拠点）&メンター（伴走者）

社会教育コーディネーター

小中学生⇔公民館 高校生・若者⇔ユタラボ

地方創生 ⇒ 持続可能な地域づくり

⇔ 持続可能なひとづくり

目の前の課題解決 ⇒ 一般行政
未来の課題解決 ⇒ 教育行政

行政主導では行政施策は実現できない時代

地域&産業も、一番の課題は「後継者」

「対話」による「つながりづくり」に手ごたえ

ひとがつながり⇒活動をつくためには

⇒場所（拠点）&メンター（伴走者）

小中学校⇒公民館 高校・若者⇒ユタラボ

子ども（未来の担い手）はどこで育つの⇒学校だけではない

⇒地域全体がフィールド⇒今こそ「地域の教育力」の出番

VUCA (ブーカ) の時代

V Volatility 変動性 不安定性

U Uncertainty 不確実性

C Complexity 複雑性

A Ambiguity 曖昧性

**今の子ども達の65%は、大学卒業時に、
今は存在していない職業につく**

**今後10年から20年で、雇用者の47%の仕事が
自動化される**

関心と興味 ⇒ **ワクワク**

心のエンジンの駆動

当たり前を疑う

真面目にやりなさい

何でもいってみる

ちゃんとやりなさい

違いを楽しむ

早くやりなさい

人が幸せに生きるために大切なものは？

ハーバード大学の研究で・・・

724人を75年にわたり追跡調査

人を幸せにし、健康にするには・・・

何よりも良い人間関係

**家族、友人、コミュニティ等、周りとのつながり
を持っている人はそうでない人よりも幸せで健
康で長生きする**

身近な人たちとの関係の質が重要である

**いざという時に本当に頼れると感じている人
の関係が大切⇒80代でも記憶が明瞭**

心のエンジンの駆動

他者との出会い

親の8割は
サラリーマン

偶発

多様な体験の機会(情報)を与える

何をいってもいい

人の言うことに対して否定的
な態度を取らない

意見が変わってもいい

〈ちいさな社会〉を愉快地に生きる 19

ひとが育つまち・1 ふるさととは「ひと」(1)

東京大学大学院・教育学研究科

教授 牧野 篤

【寄稿】

ひとが育つまち・1—ふるさとは「ひと」(1)

〈ちいさな社会〉を愉快地に生きる(19)

東京大学大学院教授 牧野篤

<https://www.yaruki-lab.jp/makino2-19/>

よくある質問から…

会議を重ねる中、特定の意見、声の大きい方の意見で、他の意見がかき消されてしまう…

子どもとどう接していいかわからない…

活動の輪が、うまく広がらない…

学校とうまく連携、協働ができない…